

2016年3月期第1四半期 決算ハイライト



 **リそなホールディングス**
RESONA

2015年8月12日

2016年3月期 第1四半期決算の概要

- (HD連結)親会社株主に帰属する四半期純利益(①)は537億円(前年同期比+3億円、+0.5%)を計上。

通期業績予想に対する進捗率は30.6%

- (銀行合算)業務粗利益(③)は前年同期比97億円(+7.3%)の増益

- 資金利益は預貸金利益の減益を市場運営で補完し、前年並みの水準を確保(④ ⑤)

- 役務取引等利益は保険・不動産を中心に、前年を上回る水準で順調に推移(⑦)

- 債券関係損益の着実な積み上げ(⑨)

- (銀行合算)税引前四半期純利益(⑮)は前年同期比14億円(+2.2%)の増益

- 与信費用は前年同期比100億円の減益ながら、引き続き戻入益を計上(⑬)

- 資本戦略を計画どおり実施(P9)

- 公的資金の完済(2015.6.25)
- 第4種優先株式の取得・消却(2015.7.31)
- 優先出資証券の償還(RPGS)(2015.7.30)

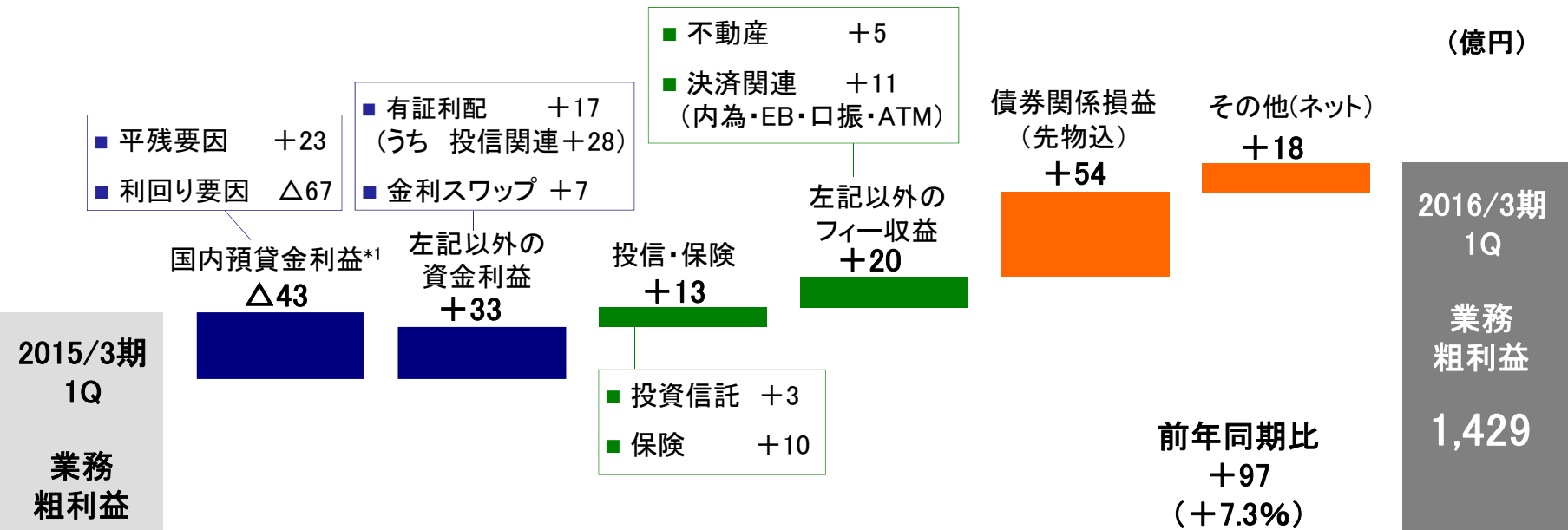
HD連結 (億円)	2016/3期				2016/3期 通期 業績予想
	1Q	前年 同期比	増減 率	業績 予想比 進捗率	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 ①	537	+3	+0.5%	30.6%	1,750
連単差(①-⑰)	56	△1			150

銀行合算 (億円)	2016/3期				2016/3期 通期 業績予想
	1Q	前年 同期比	増減 率	業績 予想比 進捗率	
業務粗利益 ③	1,429	+97	+7.3%	24.6%	5,810
資金利益 ④	991	△9			
うち国内預貸金利益*1 ⑤	835	△43			
信託報酬 ⑥	57	+1			
役務取引等利益 ⑦	275	+32			
その他業務粗利益 ⑧	105	+73			
うち債券関係損益(先物込)*2 ⑨	77	+54			
経費 ⑩	△815	+4	+0.5%	24.3%	△3,350
実勢業務純益*3 ⑪	614	+102	+20.0%	24.9%	2,460
株式等関係損益 ⑫	67	+19			100
与信費用 ⑬	16	△100			△180
その他損益等 ⑭	△38	△6			
税引前四半期純利益 ⑮	659	+14	+2.2%	28.4%	2,315
税金費用ほか ⑯	△179	△10			
四半期純利益 ⑰	480	+4	+0.8%	30.0%	1,600

*1. 国内預貸金利益: 銀行勘定(譲渡性預金を含む) *2. 債券関係損益+金融派生商品損益(債券関連)
*3. 信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

業務粗利益の前年同期比増減要因(銀行合算)

業務粗利益は前年同期比+97億円(+7.3%)の増益



	資金利益 Δ9		フィー収益*2 +34		債券・その他 +73			
	2015/3 1Q	2016/3 1Q	2015/3 1Q	2016/3 1Q	2015/3 1Q	2016/3 1Q		
資金利益	1,001	991	フィー収益*2	298	332	債券・その他	31	105
国内預貸金利益*1	879	835	投資・保険	111	124	債券関係損益(先物込)*3	22	77
その他(ネット)	122	156	その他(ネット)	187	208	その他(ネット)	9	27

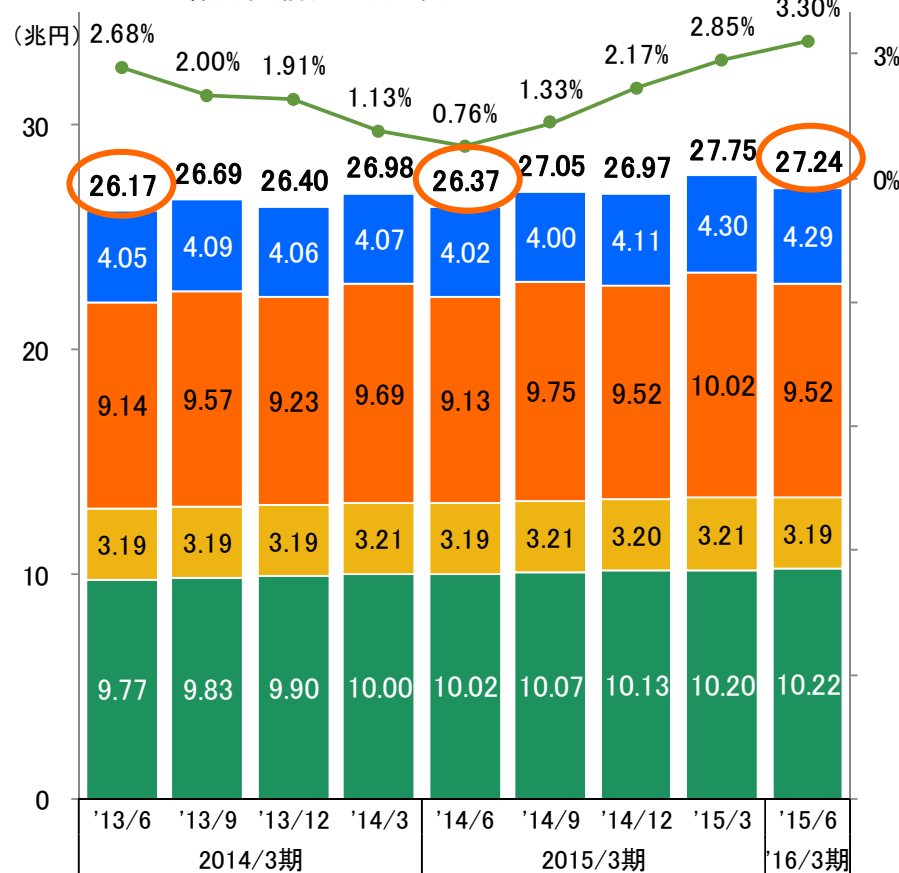
*1. 国内預貸金利益: 銀行勘定(譲渡性預金を含む)
*3. 債券関係損益+金融派生商品損益(債券関連)

*2. 役務取引等利益+信託報酬

預金・貸出金末残の状況(銀行合算)

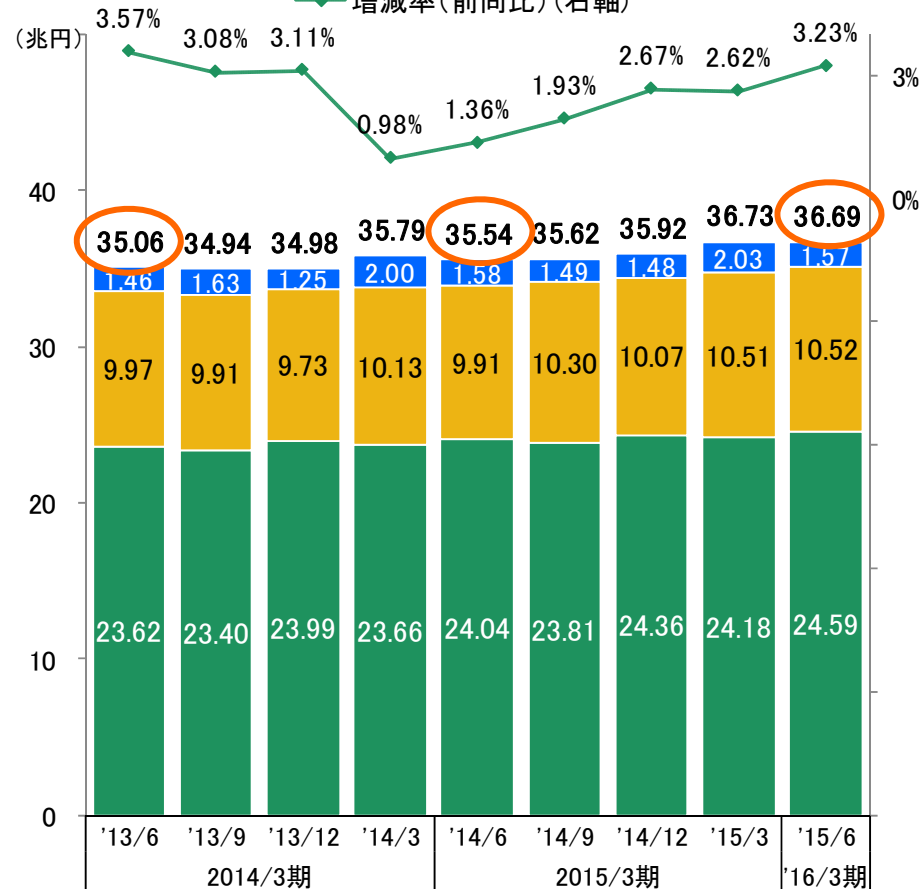
貸出金末残

- コーポレート部門(その他)*1
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン+消費性ローン)
- 増減率(前同比)(右軸)



預金末残

- その他
- 法人
- 個人
- 増減率(前同比)(右軸)



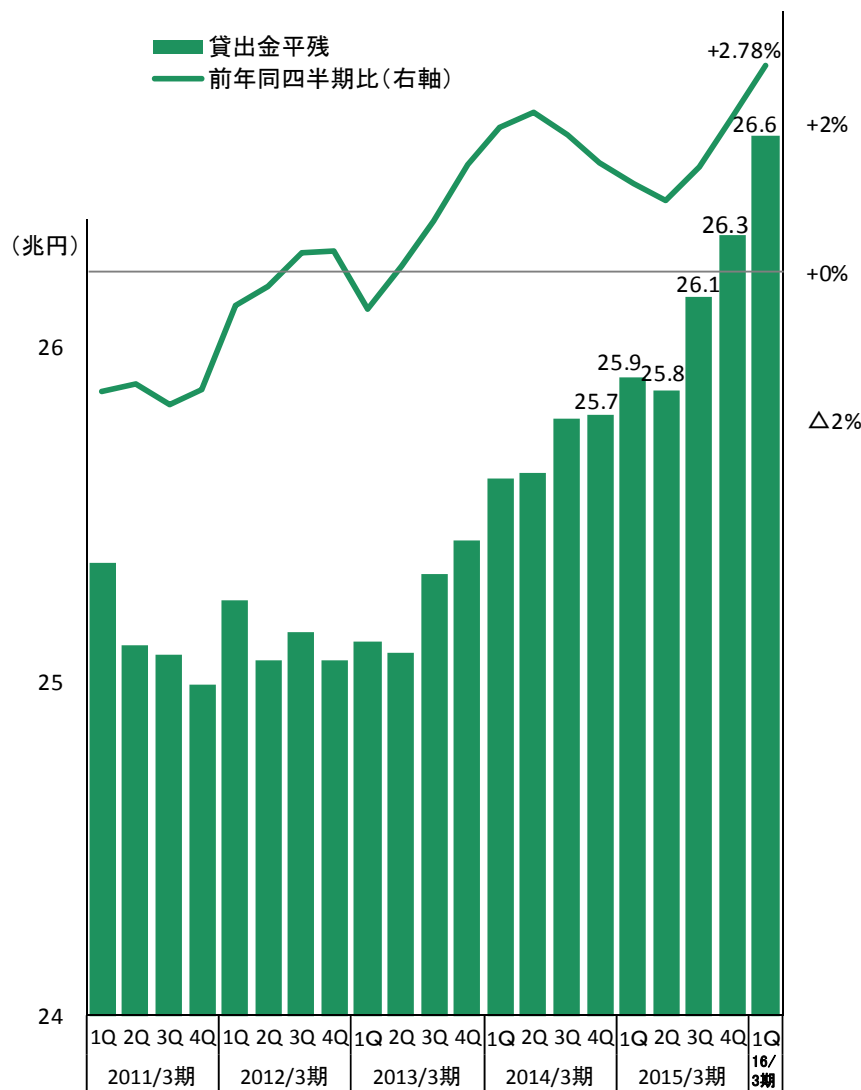
*1. RBからHDへの貸出(0.30兆円)を含む

預金・貸出金の平残・利回りの状況(銀行合算)

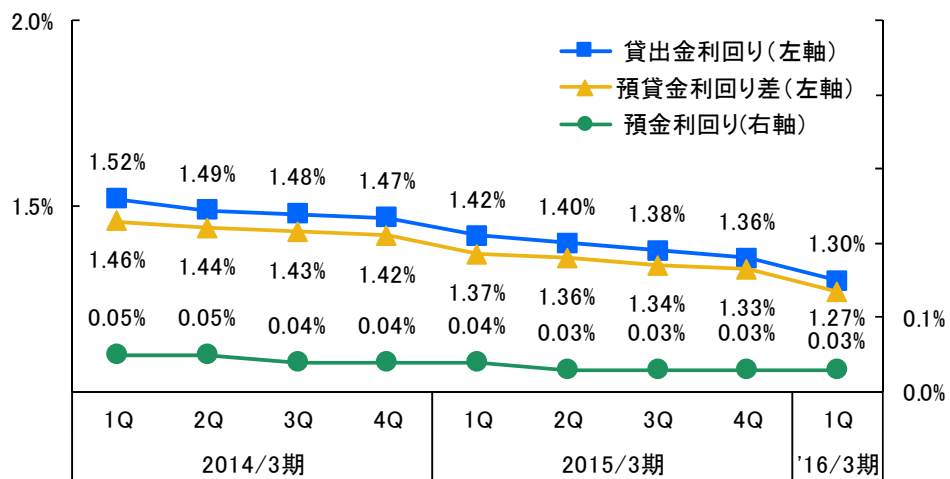
平残・利回り差

(兆円)		1Q		2016/3期			
		(実績)	増減率	(計画)	増減率		
貸出金平残(銀行勘定)		①	27.14	+3.06%			
国内 円貨*1	貸出金	平残	②	26.63	+2.78%	26.66	+2.29%
		利回り	③	1.30%	△0.11%	1.31%	△0.07%
	コーポレート 部門(公共除)*2	平残	④	15.47	+3.49%	15.53	+2.90%
		利回り	⑤	1.18%	△0.12%	1.18%	△0.08%
	コンシューマー 部門*2	平残	⑥	10.20	+2.07%	10.26	+2.11%
		利回り	⑦	1.54%	△0.07%	1.54%	△0.05%
	預金+NCD	平残	⑧	38.21	+3.68%	37.81	+1.73%
		利回り	⑨	0.03%	△0.00%	0.03%	△0.00%
	預貸金利回り差		⑩	1.27%	△0.10%	1.28%	△0.07%

貸出平残、前年同四半期比増減率(国内円貨)



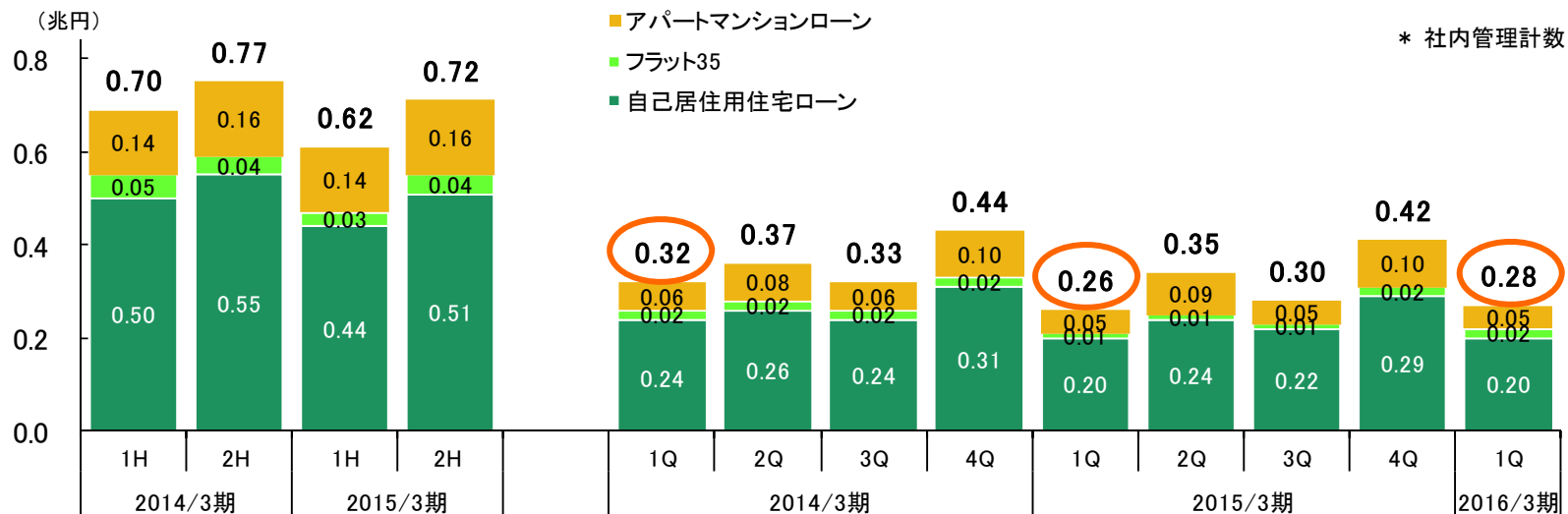
預貸金利回り・利回り差(国内円貨)



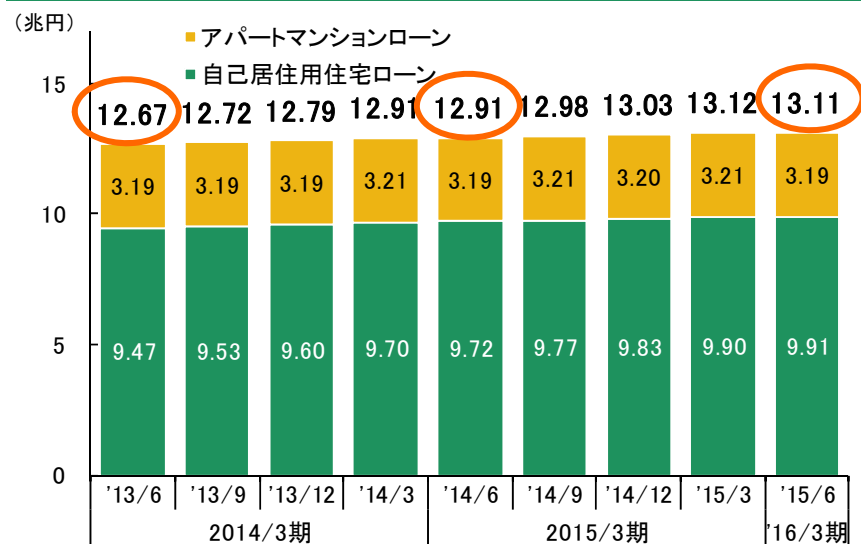
*1. 社内管理計数
 *2. コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アパートマンションローン
 コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン

住宅ローンの状況(銀行合算)

実行額の推移



残高の推移



最終ロス率*1は低位安定

2016/3期 1Q実績

0.05%

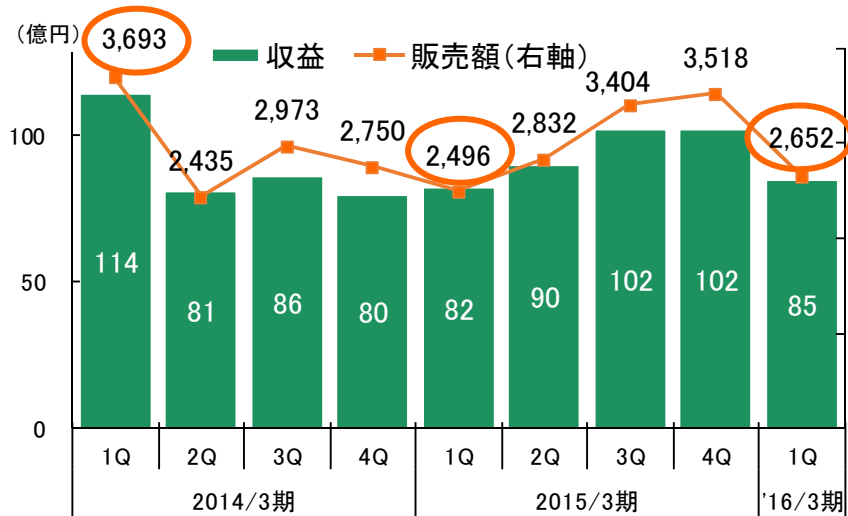
2015/3期 通期実績

0.06%

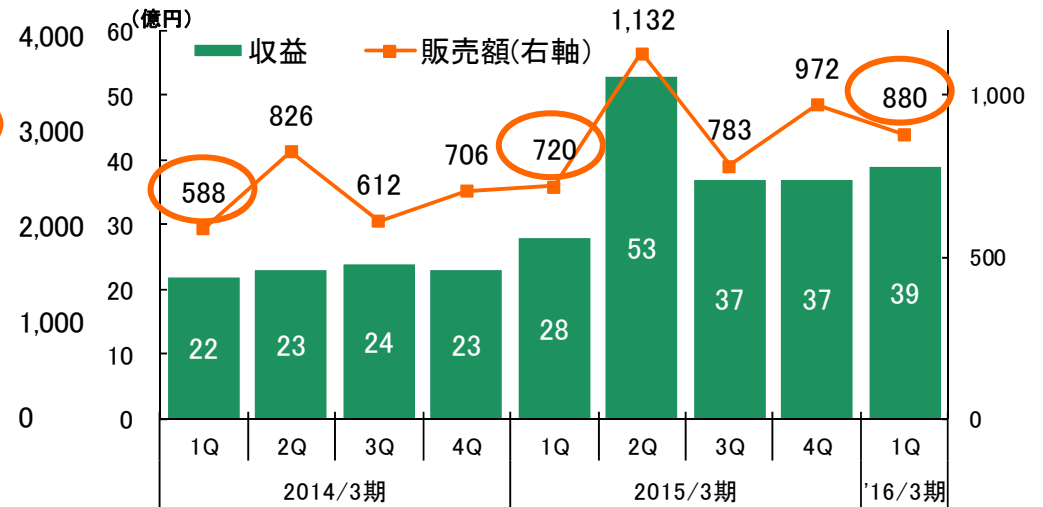
*1. 住宅ローン保証子会社代位弁済率 × (1 - 代位弁済後回収率)

金融商品販売ビジネスの状況(銀行合算)

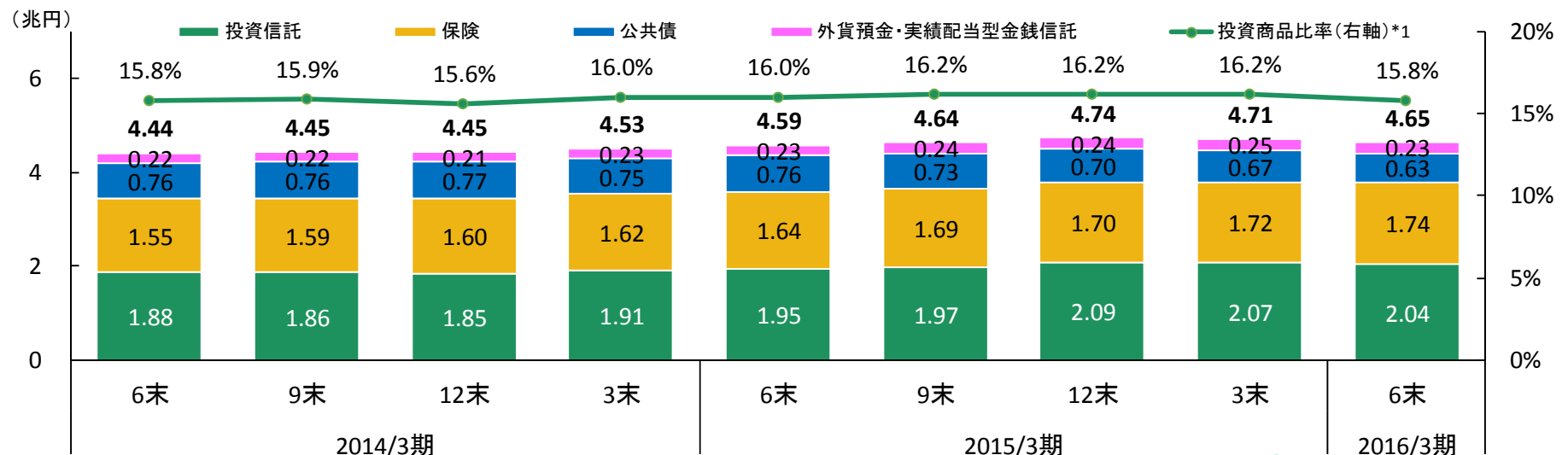
投資信託販売



保険販売



個人向け投資商品残高の状況



*1. 投資商品比率 = 個人向け投資商品残高 / 預り金融資産残高

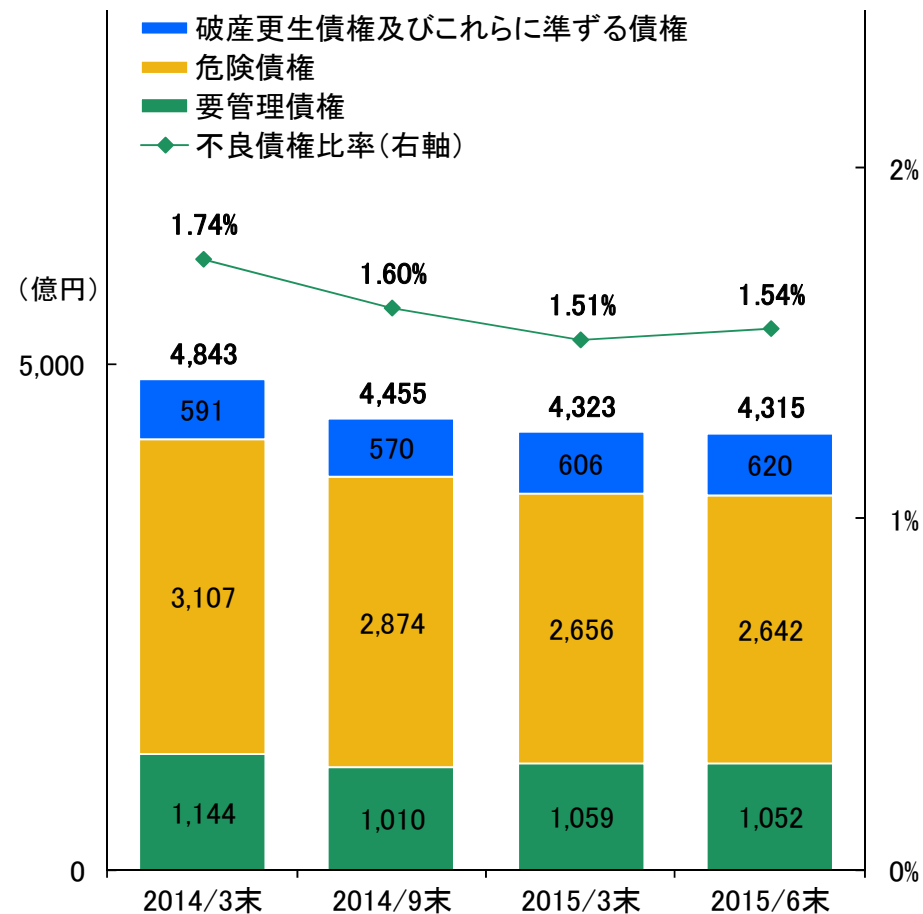
与信費用、不良債権の状況

与信費用の状況

(億円)		2014/3期		2015/3期		2016/3期	
		実績	1Q 実績	実績	1Q 実績	計画	
銀行合算	①	271	117	243	16	△ 180	
一般貸倒引当金	②	284	69	235	19		
個別貸倒引当金等	③	△13	48	7	△3		
新規発生	④	△368	△60	△295	△69		
回収・上方遷移等	⑤	354	109	303	66		
連単差	⑥	△6	△ 2	△ 19	4	△ 40	
うち、住宅ローン保証	⑦	14	9	11	16		
うち、りそなカード	⑧	△14	△5	△16	△5		
HD連結	⑨	264	114	223	21	△ 220	

*正の値は戻入を表す

不良債権残高・比率の推移(銀行合算)



有価証券の状況(銀行合算)

有価証券の状況

(億円)		2014/3末	2014/9末	2015/3末	2015/6末	評価差額
その他有価証券*1	①	61,987	54,099	38,276	34,534	6,092
株式	②	3,316	3,319	3,306	3,286	5,987
債券	③	55,535	47,633	31,869	27,432	58
国債	④	44,535	36,066	21,511	17,857	10
(デュレーション)*2	⑤	3.1年	3.4年	3.3年	3.0年	-
(BPV)	⑥	△ 14.1	△ 12.6	△ 7.2	△ 5.4	-
地方債・社債	⑦	10,999	11,566	10,358	9,574	47
その他	⑧	3,135	3,146	3,100	3,815	45
外国証券	⑨	1,513	2,186	1,430	1,956	△ 38
(評価差額)	⑩	3,328	4,243	5,731	6,092	

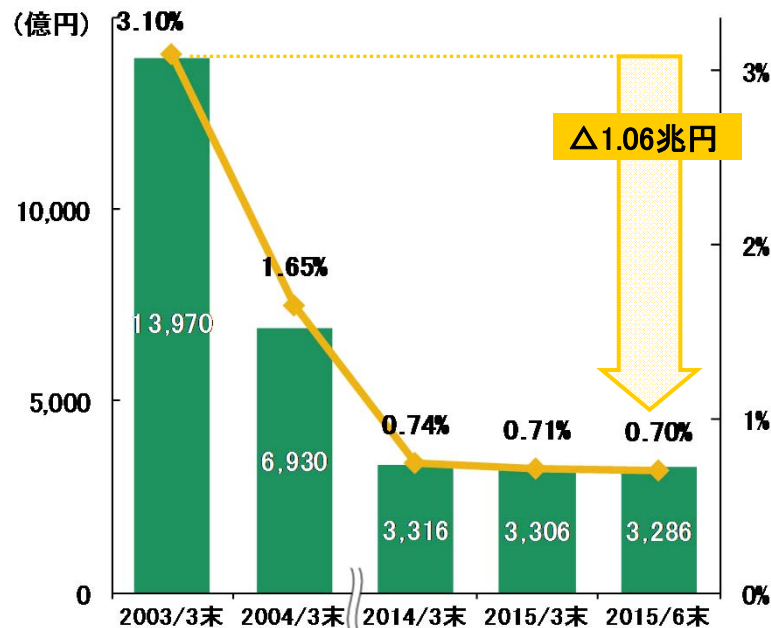
満期保有債券*3	⑪	21,507	23,249	24,357	24,598	676
国債	⑫	17,083	18,631	19,620	19,619	536
(評価差額)	⑬	678	691	726	676	

- *1. 取得原価、時価のある有価証券のみを対象として記載
 *2. 変動利付国債のデュレーションはゼロで計算
 *3. BS計上額、時価のある有価証券のみを対象として記載
 *4. 「その他有価証券」分

政策保有株式の状況

- 日経平均損益分岐点株価 5,500円程度
- 2015/5月「コーポレートガバナンスに関する基本方針」を制定し、「政策保有株式に関する方針」及び「議決権行使基準」を公表
 - 財務的体力を超えた政策株式の保有はしない
 - 保有の是非は、中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証し判断

【株式保有残高及び総資産に占める割合の推移*4】



政策保有株式残高(取得原価)(銀行合算)

総資産に占める割合(銀行合算)



自己資本の状況(HD連結)

国内基準

- 自己資本比率 (2015年6月末)
: 13.91%

(億円)		2015/3末	2015/6末	増減
自己資本比率	①	13.46%	13.91%	+0.45%
自己資本の額	②	19,984	20,321	+337
コア資本に係る基礎項目の額	③	20,259	20,561	+302
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本	④	11,124	11,664	+539
うち、資本金 資本剰余金・利益剰余金	⑤	13,571	12,317	△1,254
うち、自己株式	⑥	△24	△23	+1
うち、社外流出予定額	⑦	△2,422	△630	+1,792
社債型優先株式	⑧	1,750	1,750	-
適格旧資本調達手段	⑨	6,283	6,283	-
その他	⑩	1,101	863	△237
コア資本に係る調整項目の額	⑪	275	240	△35
リスク・アセット等	⑫	148,421	146,056	△2,364
信用リスク・アセットの額	⑬	136,367	133,291	△3,076
マーケット・リスク相当額÷8%	⑭	1,299	1,625	326
オペレーショナル・リスク相当額÷8%	⑮	10,753	10,753	-
フロア調整額	⑯	-	386	+386

(参考)国際統一基準

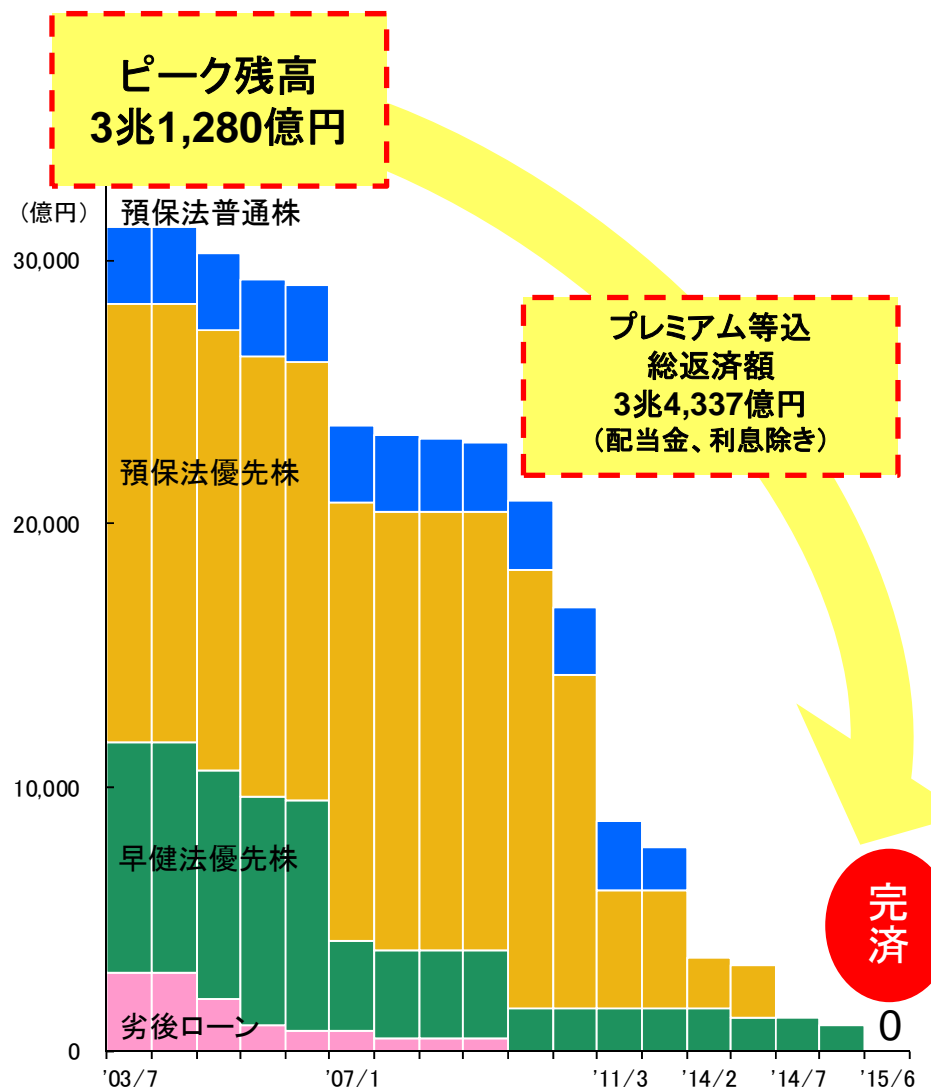
- 普通株式等Tier1比率(その他有価証券評価差額金除き)
(2015年6月末)
: 7.50%

(億円)		2015/3末	2015/6末	増減
普通株式等Tier1比率 (その他有価証券評価差額金除き)	①	8.16%	8.67%	+0.51%
Tier1比率	②	(7.07%)	(7.50%)	(+0.43%)
Tier1比率	③	9.71%	10.23%	+0.52%
総自己資本比率	④	14.03%	14.53%	+0.50%
普通株式等Tier1資本の額	⑤	12,671	13,307	+635
基礎項目	⑥	13,025	13,642	+617
うち、資本金 資本剰余金・利益剰余金	⑦	13,571	12,317	△1,254
うち、自己株式	⑧	△24	△23	+1
うち、社外流出予定額	⑨	△2,422	△630	+1,792
うち、その他の包括利益累計額	⑩	1,796	1,883	+86
うち、その他有価証券評価差額金	⑪	1,692	1,797	+104
調整項目	⑫	353	335	△17
その他Tier1資本の額	⑬	2,406	2,400	△6
Tier1資本の額	⑭	15,078	15,707	+628
Tier2資本の額	⑮	6,701	6,592	△108
総自己資本の額(Tier1+Tier2)	⑯	21,779	22,300	+520
リスク・アセット等	⑰	155,216	153,429	△1,787
信用リスク・アセットの額	⑱	143,163	141,049	△2,113
マーケット・リスク相当額÷8%	⑲	1,299	1,625	+326
オペレーショナル・リスク相当額÷8%	⑳	10,753	10,753	-
フロア調整額	㉑	-	-	-

公的資金完済と主な資本政策の進捗状況について

2015年6月25日、公的資金を完済

主な資本政策の進捗状況について



■ 早期健全化法優先株式の完済*1

- 2015年6月4日
特別優先配当の支払いにより320億円を返済
- 2015年6月25日
残額の960億円を取得・消却

⇒ 公的資金を完済

■ 第4種優先株式の取得・消却*1

- 2015年7月31日
第4種優先株式630億円を取得・消却
(経過配当金相当額込み638億円)

⇒ 2015年3月に実施した自己株式処分(865億円)と併せ、「資本の実質的交換(キャピタル・エクステンジ)」が完了

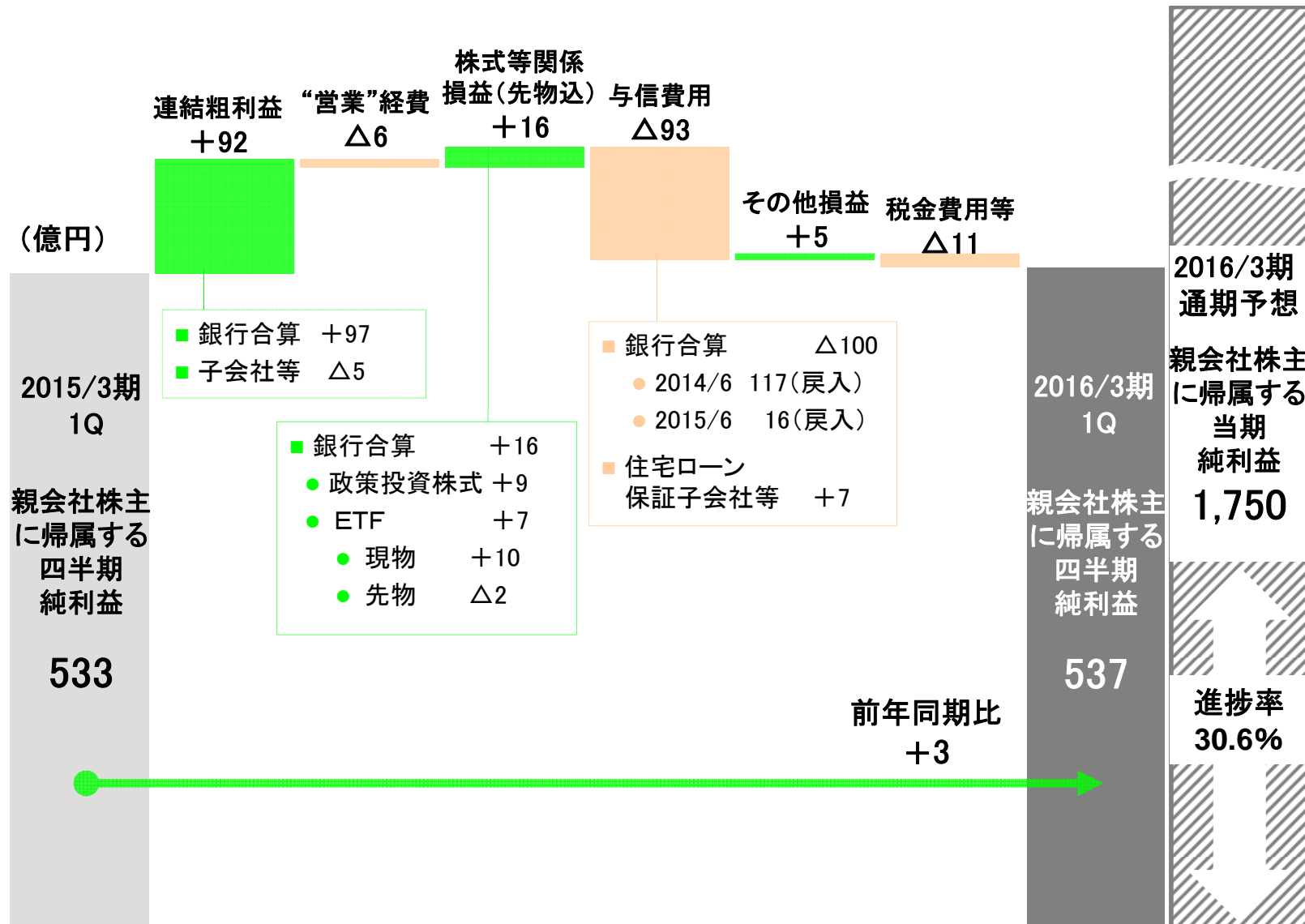
*1.当該取引は2015年3月末の自己資本比率に反映済

■ 優先出資証券の償還

- 2015年7月30日
RPGS(Cayman) 発行 優先出資証券を償還
1,150百万米ドル (7.191%)

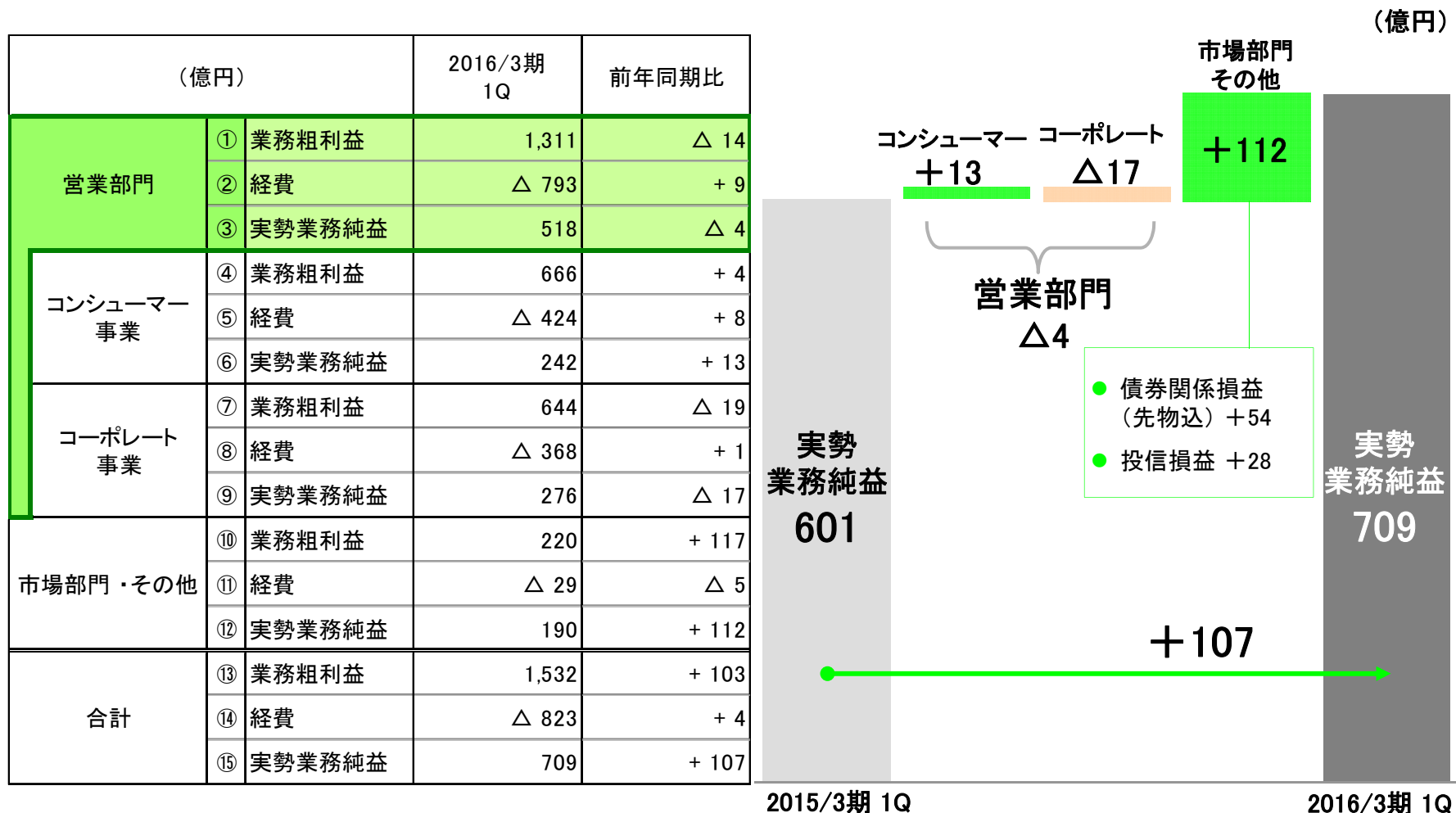
※ 自己資本比率の6月末実績につきましては、算出次第お知らせいたします。

(ご参考)親会社株主に帰属する四半期純利益の 前年同期比増減要因(HD連結)



(ご参考)事業部門別の損益概要(1)

実勢業務純益は、市場部門の増益を主因に前年同期比+107億円の増益



- 管理会計における計数の定義**
- 傘下3銀行及びローン保証子会社3社の計数を計上
 - 市場部門の業務粗利益には、株式等関係損益の一部を含む
 - 「その他」には、経営管理部門の計数等を含む

(ご参考)事業部門別の損益概要(2)

コンシューマー事業部門

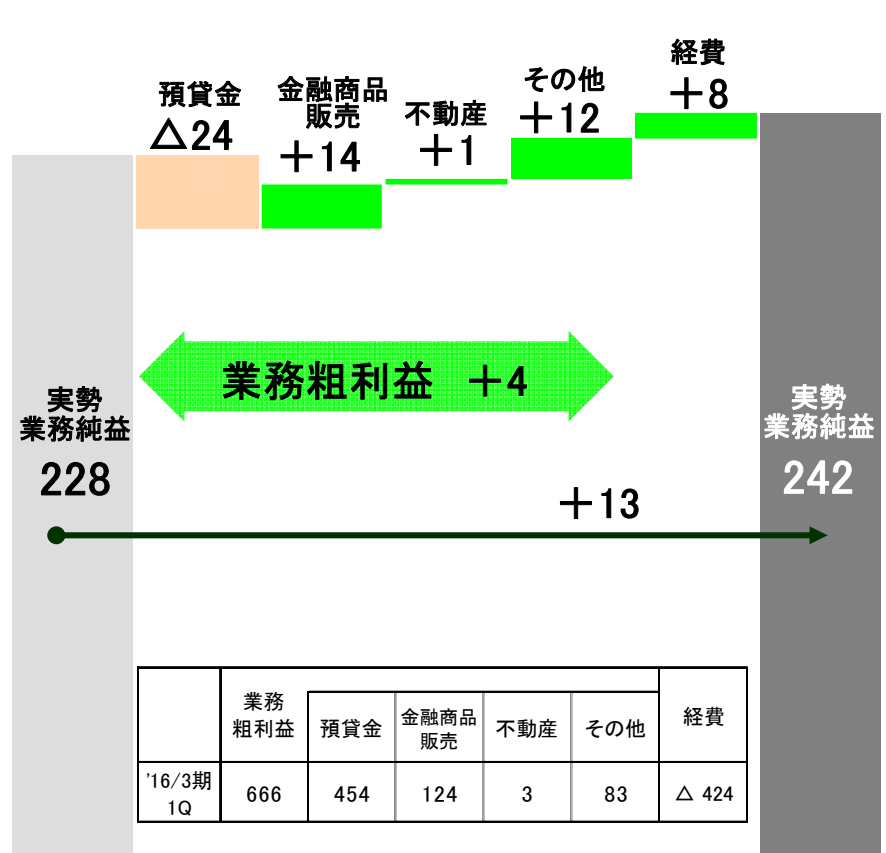
- 実勢業務純益は前同比+13億円の増益
 - 保険、決済関連ビジネス等、フィー収益が堅調

コーポレート事業部門

- 実勢業務純益は前同比△17億円の減益
 - 預貸金収益の減少を主因に減益

【変動要因】

(億円)

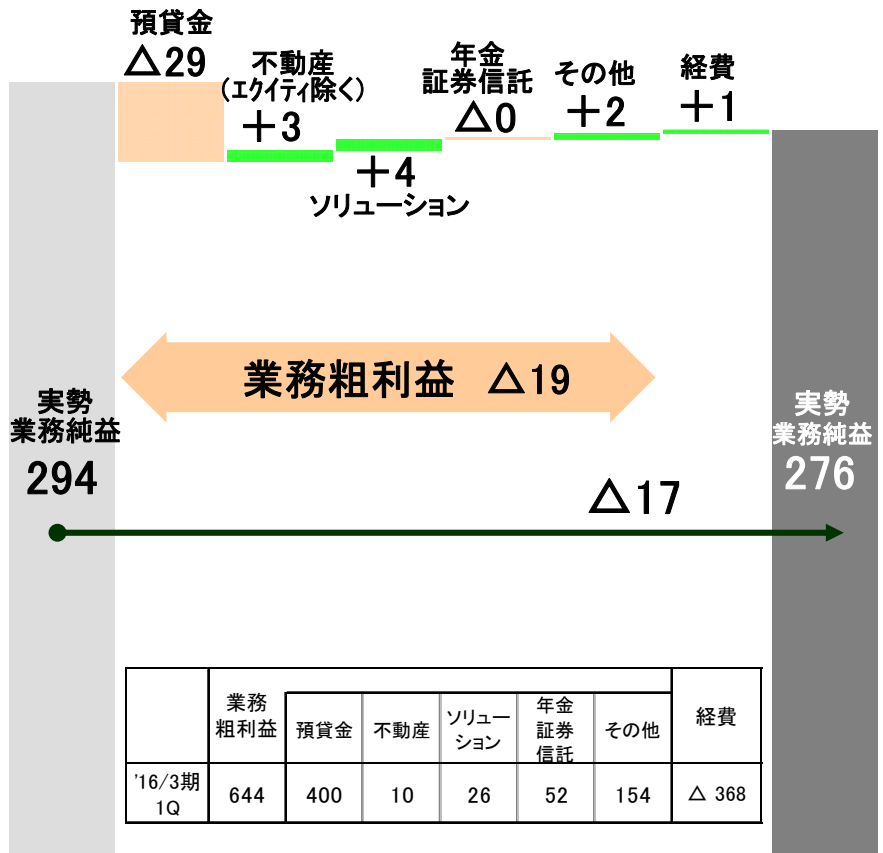


2015/3期 1Q

2016/3期 1Q

【変動要因】

(億円)



2015/3期 1Q

2016/3期 1Q

本資料中の、将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

想いをつなぐ、未来を形に。 *Next Action* RESONA GROUP

